

□ □ □ □ □ □ □ □ □

公益社団法人 福岡県人権研究所

“りべらしおん” No. 65 (2023/12/15)

□ □ □ □ □ □ □ □ □

---

福岡県人権研究所は2024年9月28日で、  
前身の福岡部落史研究会創立から50周年を迎えます。

---

【現在研究所の蔵書を借りている方・これから借りようとしている方へ】

本の返却期限は、貸出日から1ヶ月以内です。現在借りている本が返却期限を過ぎている場合は、早急に研究所へご返却下さいますよう、お願いします。

また、返却の際は本の背表紙についているラベルと同じアルファベットの棚にお戻し下さい。

## I <報告>

### (1) 部落問題部会（園田）

2023年11月18日（土）（於福岡市教職員組合東部事務所）

#### 1. 授業実践報告・「絵本のいのちの花が生まれでた!!実践事例集」より

= 「主人公は自分なんだ！」 = ～質問に答えない「質問集会」のとりくみ～

（報告：中島亮太さん）

#### 2. 井元麟之・その人と思想 第3回

= 「人の世に熱あれ 人間に光あれ」 = ～水平社宣言・12個の変遷をたどる～

（報告：青木翼さん）

### 「部落問題部会」第3回研修会の報告

#### 1. 絵本「いのちの花」のとりくみ（『実践事例集』から）

クラスでの絵本の読み込み学習のうえで、絵本の作者を呼んで質問集会をする。それは質問に「答えない」質問集会。生徒からの質問を生徒に返しつづけ、生徒自身が自分の力で、自分の言葉で「答え」を探す・・・。

2. 水平社創立宣言以降、消滅までの16回大会のなかで、12個の宣言が出されている。その変遷を追い、その苦難や不屈の精神に学ぶ。

### 「部落問題部会」第3回研修会の感想

①今までの学習スタイルから脱却し、子どもが自分で考える、表現することを通して、生きる力をつけていくことが大切なのだということに気付かされた。

②12個の水平社宣言の変遷については運動を進める苦悩の道を見るようでした。道なき道を進んできた営みに触れることができました。

③「考える力、生きる力を育てるための人権・部落問題学習」という言葉が印象に残りました。「禁句指導は教育ではない」という言葉を改めて心に刻み、頑張っていきたいと思う。水平社が戦争に向けて変化していく様子がよくわかりました。

④知識だけでなく、生き方と出会うというスタンスに勉強させられました。考える力をつけるということ肝に銘じていきたいと。

- ⑤水平社宣言は第1回のものしか知らなかったのととても興味深く聞かせていただきました。
- ⑥質問集会の取り組みについて、作者の子ども達に考える力、表現する力、生きる力をつけたい、という思いに、それを大事にする実践が大事と思いました。
- ⑦絵本は、私も地元の人間で、小さい時に学習し、自然と体に染み付いている話です。我が子も今小5でお墓参りの時、お墓には必ずお参りして話をしています。毎年、たくさんの方がフィールドワークに来ているこのお話を、これからも守っていきたくと思います。（支部）
- ⑧禁句指導では差別発言はなくなる、本当にそうだと思います。日々の授業のあり方、教師の価値観など考えることができた。知らない事がたくさんあり、学習していきたく！
- ⑨水平社宣言の言葉や背景をもっと学びたいと思いました。
- ⑩質問集会、とてもいい学びだと思いました。過去に学んだ中2の子供たちが数年経った時、大人になった時、その時の学びがどのような風に心に残り、どう思ってるのだろうか。
- ⑪時代の限界があったとはいえ、水平社の歴史の学びの中から、私たちのこの時代の中で、流されず見抜き声を上げるのか、未来志向の動きをどうやって作っていくのか、2022年3月1日の宣言が最後に背中を押してくれた。
- ⑫初めて参加させていただきました。「いのちの花」の実践、大変参考になりました。協議の中で、教師としてのあり方をもう一度見つめ直すことができました。
- ⑬宣言の変遷を学んで、新たな見方としてフィードバックした。最後の方の討論で、一部井元麟之の思想的な移り変わりを知り得ました。次回が楽しみ。

※次回の活動予定：

日時：2024年1月27日（土）13:00 受付 13:30 開会

会場：福岡市教職員組合東部事務所（福岡市東区馬出4丁目2-17）

内容：

- 1 授業実践報告・「絵本いのちの花が生まれでた!!実践事例集」より
- 2 井元麟之・その人と思想 第4回

## (2) ふれあいフェスタ 2023×第16回北九州市障害者芸術祭（峰）

2023年11月19日（日）北九州市のウェルとばたで、ふれあいフェスタ 2023×第16回北九州市障害者芸術祭が開催されました。本研究所は、「全九州水平社創立100周年」のパネル展示と書籍販売を行いました。原田憲正理事が、展示の準備を手伝いにきて下さいました。展示ブースは、人権・福祉に関する18団体が参加しました。

研究所の展示や出版物に立ち寄る人と人権問題について話すことができました。市民の方に人権について関心を持ってもらういい機会となるフェスタでした。

例年より来場者が少なかったのですが、このような催しは大切だと思います。今後も参加者が増えるといいなと、展示して思いました。

13時からのステージイベントでは、“らんま先生のeco実験” “堀ちえみさんの人権講演” “演奏・歌・ダンスのバリアフリーステージ” などがありました。

## (3) 教育部会（峰）

2023年12月9日（土）（於福岡県人権研究所）

テーマ「教育課題としての狭山事件」

12月9日（土）9時から11時まで第4回教育部会を「教育課題としての狭山事件」をテーマとして行いました。参加者は、3名でした。今回は第42回全九研の討議資料「第2回狭山再審闘

争と司法民主化の課題」をもとに1963年に起きた狭山事件。1994年12月21日石川さんが仮出獄し、31年7か月ぶりに狭山に戻ったが、無罪を勝ち取るための闘いは続き、2006年5月23日に第三次再審請求が石川さんと弁護団が申し立て、現在にいたってること、など。今回は「教育課題」についての論議はできませんでした。しかし、狭山事件の経過と現状について部落差別が生んだ冤罪である、狭山事件について今後も学習していくことが大切だ、などの意見交流をしました。

※次回の活動予定：

日時：2024年1月13日(土) 10時から12時

場所：事務局

#### (4) 史資料プロジェクト(塚本)

テーマ「植民地下朝鮮における衡平社の活動」

2023年12月9日(土) (於ししぶ交流センター)

2023年度第7回例会は、「植民地下朝鮮における衡平社の活動」という標題で会員の竹森健二郎さんより提案という形で進行しました。

はじめに、提案する衡平社の活動を『朝鮮衡平運動史料集』(部落解放・人権研究所 衡平社史料研究会編、解放出版社<2016年4月/『続』(2021/2)>)で説明していただいた。そして7項目の柱建てで話を進められました。(1)「衡平社の誕生」では、①衡平社の設立：1923年4月25日慶尚南道晋州大安洞で創立大会を開催。事務所を鳳洞に置く。当初役員：李學贊・姜相鎬(※)・申鉉壽(※)・千錫九(※)・張志弼((※)は非白丁)(『大正13年7月管内状況高等警察課』)②衡平社に対する反発。③水平社の対応。全水は、衡平社第2回大会に祝辞を送る。(2)「初期衡平運動」では、①衡平社の分裂、1924年衡平社本部(晋州)と衡平社革新同盟(京城)それぞれで全朝鮮大会が開催。②慶尚北道醴泉郡での衝突。③高麗革命党事件。(3)「水平社との交流・連携」では、平野小剣が1926年6月29日に渡朝し、7月2日に衡平社本部を訪問している。(4)「白丁に対する差別」では、1928年の大会報告に5件の差別事件が掲載されている。(5)「衡平社の内部対立と大同社の設立」では、衡平社の内部抗争の記事がある。(6)「1936以降の大同社」では、内部抗争の撤廃と経済向上を目指している。(7)「ふたたび衡平社へ」では、1940年以降の大同社の活動はほとんど史料にはあられせず、大同社を再び衡平社と改称するが、運動を挽回することが不可能であったと推測された。「まとめ」として、朝鮮衡平社の経過を、史料をもとに分かりやすく説明していただきました。

次回第8回例会は、1月13日(土)14時、ししぶ交流センターにて、塚本博和より、「朝倉重吉から松本治一郎への手紙」、次々回第9回例会は、2月10日(土)14時、加来康宣さんより「豊前の古文書より(仮)」の予定で進めます。多くの方の参加をお待ちします。

## Ⅱ<お知らせ>

### (1) 部落問題部会 第4回 研修会

日時：2024年1月27日(土)13:00 受付 13:30 開会

会場：福岡市教職員組合東部事務所

(福岡県福岡市東区馬出4丁目2-17)

内容：

1 授業実践報告・「絵本のいのちの花が生まれでた!!実践事例集」より

## 2 井元麟之・その人と思想 第4回

問合せ：公益社団法人福岡県人権研究所

TEL (092) 645-0388 FAX (092) 645-0387

(2) 9月25日(月) 21時～テレビ朝日 ABEMA Prime (ネットテレビ) に川口泰司さんがご出演され、川口さんの新刊『「寝た子」はネットで起こされる！？』(福岡県人権研究所) が紹介されました。以前、『リベラシオン』144・186号に東日本大震災被災地支援についてご執筆された片岡遼平さんもお出演されています。以下のサイトでご視聴いただけます。

[https://www.youtube.com/watch?v=o0opx\\_QdRe4](https://www.youtube.com/watch?v=o0opx_QdRe4)

『「寝た子」はネットで起こされる！？』お求めはこちら↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/item-detail/1428113>

### ・ イベント

<http://www.f-jinken.com/event.html>

### ・ 部落史部会

<http://www.f-jinken.com/activity/burakshi.html>

### ・ 教育部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kyoiku.html>

### ・ ジェンダー部会

<http://www.f-jinken.com/activity/gender.html>

### ・ 外国人部会

<http://www.f-jinken.com/activity/gaikokujin.html>

### ・ 啓発部会

<http://www.f-jinken.com/activity/keihatsu.html>

### ・ 海外人権スタディツアー企画部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kaigaistudy.html>

### ・ 部落問題部会

1月27日(土)「授業実践報告」 「井元麟之・その人と思想 第4回」

<http://www.f-jinken.com/activity/burakumondai.html>

### ・ 特別プロジェクト「松本治一郎・井元麟之」研究会

<http://www.f-jinken.com/activity/project1.html>

〔人権研究所 書籍販売〕

新刊『「寝た子」はネットで起こされる！？—ネット人権侵害と部落差別—』（川口泰司著）

新刊・既刊のお求めはこちらから↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

当研究所 HP、コラム「羅針盤 PART II」

<http://www.f-jinken.com/index.html>

研究所フェイスブック

<https://www.facebook.com/fukuokajinkenken/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みなさんの投稿お待ちしております。

[info@f-jinken.com](mailto:info@f-jinken.com) （登録解除はこちらから）

【公益社団法人福岡県人権研究所は、会員の会費で運営されています。】